

ほっと京たなべ

ナルホドをやつてみようにつなぐ広報紙

10
Oct.2025
No.952

山本の百味と湯立

瑞饋神輿



秋祭の三重奏



注目情報



14-15ページ 特集2 昭和の田辺町に想いをはせる

17ページ 国勢調査にご協力を

36ページ 保育所など来春入所申請を受け付け

挟み込み

奉納される 6つの舞



① お祓いの舞

神々を迎えるために、舞台を清めます。



日時 10/14 火

場所 天津神社 午後6時30分から
月読神社 午後7時30分から
公共交通機関で来場してください。



大住隼人舞は6つの舞から構成されています。舞人を務める地元中学生・高校生が、古代装束を身にまとめて剣や盾などの武具・鈴などを持ち、太鼓や笛の音に合わせて踊ります。①から⑥の順で奉納します。



② 神招の舞

舞台に「月読の神」「天津神」「国津神」など八百万の神々を呼び招きます。



⑥ 松明の舞

八百万の神々に感謝を表します。



③ 振剣の舞

けがれを払い、隼人の勇ましさを誇示します。



⑤ 弓の舞

弓の技術を誇示し、狩猟の豊かさを祈ります。

特集1
P2 ▶ 13

秋祭の三重奏

歴史のある本市には、地元で大切に受け継がれている伝統行事があります。今号では、10月に行われる市指定の3つの無形民俗文化財を紹介します。

問合せ先：文化・スポーツ振興課（☎ 64-1300）



④ 盾伏の舞

盾を持ち、外からの悪霊を防ぎます。



市文化財指定から50年

大住隼人舞

おおすみはやとまい

大住隼人舞は、大住地域の月読神社と天津神社で、毎年10月14日の夕刻に奉納される舞です。昭和46年に同地域の青年5人が、鹿児島県の日枝神社に伝わる神楽をモデルに復元しました。翌年に大住隼人舞保存会が結成されると、昭和50年、田辺町（現京田辺市）無形民俗文化財第1号に指定されました。今年は市文化財指定から50年の節目に当たります。

隼人の歴史

大住隼人は、今から1千300年ほど前に九州の大隅地域から、現在の大住地域に移住した人々のことです。「大住」の地名の由来と考えられています。隼人の人々は当時で、平城宮の警備や芸能活動を行い、朝廷に奉仕したといわれています。



隼人踊り

昭和48年に創作された「隼人踊り」。地元の小学校の女子が花笠をかぶって華やかに踊ります。



龍笛の演奏

古代の空間にいざなう龍笛の音色。地元の小・中学生、高校生が演奏します。（写真は大阪・関西万博会場）



大住隼人舞

Interview 伝統の守り人



大住隼人舞保存会
会長 石坂 清さん(70)

地域の農業委員を務めて6年目。
米作りながら、保存会の活動に励んでいます。

市民の皆さんへメッセージ

大住隼人舞は月読神社で奉納するイメージがあると思いますが、1時間前に岡村地域の天津神社でも奉納しています。薄明かりの中で、質素なござの上で舞う姿は、見る人を古代へいざなつてくれます。こちらもぜひ、見に来てください。

もっと知りたい！ 隼人舞



舞を動画で公開

府地域文化活性化連絡協議会の公式ユーチューブ(=2次元コード)で、隼人舞の紹介動画を視聴できます。



盾を展示

平城宮跡資料館(奈良市)では、隼人の盾(複製品)が常設展示されています。昭和38年の発掘調査で発見されました。



盾が描かれた駅前ストリート

田辺駅前大通りの地面には、魔除けの紋様が入った隼人の盾が描かれています。

11月に隼人族と縁がある鹿児島県の3大祭りに出演します

最近の保存会の活動は

昨年2月、京都南座で京都を代表する伝統芸能の一つとして出演しました。各演舞の時間が秒単位で決められるなど制約がありましたが、舞を短く組み替え適応させました。また、同年11月には「隼人の盾」が出土した奈良の平城宮跡で聖武天皇即位1300年記念特別展に出演しました。大極殿前に舞台が設けられ、幻想的な夜間演出の中、宫廷で演じたとされる

舞がこの地で披露できたことは感慨深いものがありました。

大阪・関西万博での披露は

5月3日、大阪・関西万博の関西パビリオンで、国内外から訪れた多くの観客の前で披露できたことは特別な思い出です。舞台裏としては、搬入は出演時間の30分前と決められていたので、前日に北部住民センターで組み立ててからトラックに積み込むことで、スマートな舞台設営ができました。

また、マイクで各舞の解説をする際に、外国人にも伝わるよう日本語と英語を併用しました。

今後の展望は

大住隼人舞のルーツは鹿児島県大隅地方といわれています。その鹿児島県の3大祭りの一つに数えられている「弥五郎どん祭り」(曾於市)からオファーがあり、11月に出演を予定しています。今年創建千年を迎える岩川八幡神社の伝統行事で、大切な記念の年に招かれたことはとても誇らしく思います。約5mある武人姿の弥五郎人形が町内を練り歩く行事ですが、この弥五郎という人物は隼人族の首領という説もあり、縁を感じています。

日本を代表する数々のイベントで舞う

奈良平城宮跡で披露



聖武天皇即位1300年をみんなで祝おう！ ナイトサイトミュージアム



ライトアップされた大極殿前に設置された舞台で、勇壮な舞を披露。松明の舞では照明が落とされ、大極殿をバックに舞人の姿がシルエットで浮かび上がりました。(昨年11月23日)

大阪・関西万博で披露



舞人や龍笛奏者を務めた22人の皆さん

meet up Kyoto きょうと大集合ステージイベント

大阪・関西万博の関西パビリオンで、実際とほぼ同じ大きさの舞台を短時間で再現。大屋根リングが見下ろす場所に設けた観客席には、外国人など多くの人が舞に見入っていました。(5月3日)

Interview 舞人

**舞つて6年。
今後は指導役に**



大谷高等学校3年生
岩本 真輝さん

幼い頃から憧れていた大住隼人舞に関わるようになったのは、中学校1年生の時でした。コロナ禍で奉納の機会が減る中でも、伝統を守りたい一心で練習を重ね、南座や平城宮跡など歴史ある舞台に立つことができました。6年間の活動の先には、大阪・関西万博という世界の方々に見ていただき舞台も経験し、大切な仲間とともに大住隼人舞の魅力を広く届けることができました。今後は、中学生への指導やゆかりある地域との交流を通じて、多くの人の心を躍らせる舞を、末永くつないでなければと考えています。

大人神輿と子ども神輿

棚倉孫神社の境内に並ぶ大小2基の瑞饋神輿。メインの「大人神輿」(写真左)と、少し小ぶりの「子ども神輿」(写真右)は、毎年交互に作られます。



巡回の流れ

① 鳥居くぐり 難所

鳥居の下をくぐるため、担ぎ棒を地面すれすれまで下げます。屋根飾りの鳳凰を傷付けないように、担ぎ手は腰を落として慎重に歩みを進めます。



お稚兒さん

華やかな衣装を身に着けたお稚兒さん。巡回の直前に、神主よりおはらいを受けます。

② 上り坂 難所

天井川の天津神川を越えるため、傾斜のきつい境内の坂を上ります。氏子ら約20人が力を込めます。



④ 太鼓の音を響かせながら 区内を巡回

神輿と子どもたちを乗せたトラックが、太鼓の音を響かせながら田辺区内を巡回します。巡回後、神輿は神社で奉納された後、境内で一年間展示されます。



③ 下り坂 難所

橋を渡り川を越えたら、今度は急勾配の坂を下ります。

難所

今年は巡回の年

10月に田辺地域にある棚倉孫神社の秋祭で2年に一度、繰り出される瑞饋神輿。一説によると、明治期に北野天満宮の瑞饋神輿を手本に制作されたといわれています。昭和5年に一度途絶ましたが、昭和51年に47年ぶりに復元しました。昭和53年に瑞饋神輿保存会が結成されると、同年、田辺町(現京田辺市)無形民俗文化財第2号に指定されました。神輿は約30種類ほどの野菜や穀物、乾物で飾り付けられ、五穀豊穫を祈願します。



瑞饋神輿

30種類の野菜・穀物で飾り付け
ずいきみこし

私が保存会の会計担当から制作担当に替わってはや10年になります。現在、制作者は6人で、平均年齢は70歳半ばとかなり高齢化しています。

制作は、神輿をおはらいして古い装飾を取り外すことから始めます。9月上旬に神輿をパーツごとに解体した後、一週間かけて穀物類を貼り付けていきます。壁面にすき間なく敷き詰めているインゲンマメは、日持ちが良いのでこれまで補修でしのうできましたが、

10年ぶりの大仕事



壁面は約8,000粒の
インゲンマメ(三度豆)でびっしり

至近距離で細部のこだわりを見て

Interview 伝統の守り人



虫食いや劣化が進んできたので、今回、10年ぶりに貼り替えます。

技術の継承のために

装飾には設計図や手順書がない、前回の写真や記憶を頼りに制作しています。また、技術や知識を継承するため、これまで子ども神輿は毎年制作していましたが、高齢化する担当者の負担を考え、前回から隔年制作に変更しました。ただ、大人と子ども神輿を交互に制作することで、空白期間が生まれないように配慮しています。

天候に左右される苦労も指定文化財なので、できるだけ形状を変えることなく伝統を守つていかたいのですが、自然の物を使用しているため、猛暑や渇水など天候の影響でイレギュラーな対応を迫られることも少なくあります。前回、屋根を覆うズイキの生育が悪く葉柄が短かったので、根元のサトイモの一部を含めて使用しました。また、飾りとなる野菜が不作で手配できない時は、やむを得ず代わりの農作物を探します。

ることにやりがいと誇りを感じています。体が動く限りは制作を続けるとともに、後継者の育成にも力を入れ、伝統を後世まで残すことに貢献したいです。神輿は細部までこだわっているので、ぜひ、顔を近づけて至近距離で見てください。感動していただけたら制作冥利に尽きます。

ぜひ、細部まで見て

市を代表する文化財を作っています。



日時 10/12日
午後1時から巡行

場所 棚倉孫神社

公共交通機関で来場してください。

Interview 伝統の守り人

細かい作業はまさに職人!
瑞饋神輿ができるまで

千里の道も
一歩からやで



制作風景。朝9時から夕方4時まで、黙々と作業の手を進める制作者の皆さん

ゴールが見えてきたで!

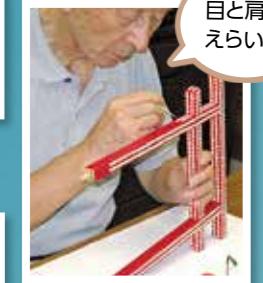


10月上旬に関係者総出で神輿を組み立て、ズイキで屋根を覆います。巡行当日の朝、軒先を切り落として、きれいに仕上げます。

穀物類は、ピンセットやつまようじを使って一粒ずつ丁寧に貼り付けます。



小さすぎて
指でつかめへん



傷んだインゲンマメを彫刻刀で外して、新しい豆に入れ替えます。

ついに完成!
伝統の紡ぎ手として
誇りに感じるわ。感無量。



巡行の4日前に、鮮度落ちが早い野菜類を一気に飾り付けます。

どんな農産物が使われているの?

ズイキ・トウガラシ・ナス・キンカン・赤ナス(野菜)、米・小豆・大豆・麦・インゲンマメ・ナタマメ(穀物)、ケイトウ・千日紅(花)など約30種類。ほとんどを総代・氏子など関係者で生産しています。



ズイキとは?

サトイモの葉柄のこと、植物の葉と茎をつなぐ柄状の部分のことをいいます。

大正・昭和にタイムスリップ



110年前(大正4年)
掛け軸に描かれた瑞饋神輿



41年前(昭和59年)
区内を練り歩く瑞饋神輿

江津区と山本区の祭神が
まつられている佐牙神社

傘持ちや刀持ち、「宝物」と呼ばれる箱を頭上に載せた人など約20人が列をなしで御旅所まで巡行します。(写真は20年前の様子)

「湯立」の巫女を長きにわたって務められた方が2年前に亡くなつたことで、行事の存続に危機が訪れました。

佐牙神社
氏子総代 藤井 康夫さん(79)

週1回のペースで仲間とゴルフを楽しんでいます。家では家庭菜園でさまざまな種類の野菜を育てています。

当日の朝、佐牙神社を出発した2基の神輿は、太鼓を打ち鳴らしながら、約2km先の山本御旅所を目指して巡行します。以前は、重さ約80kgある神輿を氏子が担いでいましたが、高齢化する関係者の負担軽減のため、人力から台車へ、そして6年前からはトラックで神輿を運んでいます。

傘持ちや刀持ち、「宝物」と呼ばれる箱を頭上に載せた人など約20人が列をなしで御旅所まで巡行します。(写真は20年前の様子)

1 神輿の渡御 佐牙神社から 山本御旅所へ巡行

祭の流れ

2 百味 野菜・果物・穀物 が神棚にずらり

百味は「映え」を意識

「百味」は約70軒ある氏子から

提供してもらつていて、中にはキ

ビ・アワなど百味のために育てて

いる穀物もあります。100種類

を揃えるのは非常に困難で、やむ

を得ず区外や市外から入手して

いる物もあります。近隣で手に入

りにくい農産物は旅先などで確

保し、行事の時まで冷蔵庫で長期

保存することもあります。

また、多種多様な農産物を神棚

に陳列しますが、ただ並べるだ

けでなく、「映え」を意識していま

す。見た目を美しく豪華に見せる

ため、色味や大きさをバランスよ

く配置する工夫をしています。

「百味」の陳列は見映えを意識

祭の流れ



日時
10/12日

午後7時から

場所
佐牙神社
山本御旅所

公共交通機関で来場してください。

山本の百味と湯立

100種類の野の幸を供え、湯を振りまく

ひやくみ
ゆだて

年10月に行われます。

「山本の百味と湯立」は、佐牙神社の山本御旅所で毎年10月に行われます。

「山本の百味と湯立」は、佐牙神社の山本御旅所で毎年10月に行われます。

佐牙神社の山本御旅所(三山木地域)まで神輿が巡行する

と、約100種類の農産物

が「百味」として神棚に供えられます。

その日の夜に行われる

「湯立」では、巫女が笹で

釜の湯をすくい、参拝客に

振りかけて無病息災を願い

ます。平成6年、田辺町(現

京田辺市)無形民俗文化財

に指定されました。



「山本の百味と湯立」は、佐牙神社の山本御旅所(三山木地域)まで神輿が巡行する

と、約100種類の農産物

が「百味」として神棚に供えられます。

その日の夜に行われる

「湯立」では、巫女が笹で

釜の湯をすくい、参拝客に

振りかけて無病息災を願い

ます。平成6年、田辺町(現

京田辺市)無形民俗文化財

に指定されました。

巫女の後継者が来年デビュー



Interview 伝統の守り人

父は佐牙神社など4社の宮司を務めています。私は将来、父の跡を継ぐ予定のため、この夏休みの1ヶ月、神職養成学校に週6日のペースで京都市まで通っていました。30人程が合同で、座学や作法など神職の基本的な知識・技術を習いました。朝8時半から夕方6時半までみっちり学んだ後、続けて1時間ほど自主練習に励みました。初めて教わることばかりで大変な上、2時間の正座が私にはかなりつらかったです。

宮司になるのは父が引退してからなので当分になりますが、地域の人々に安心と前向きな気持ちをもってもらえるような神職を目指して、現在も修行に打ち込んでいます。

そんな私ですが、来年の湯立から巫女を務めさせていただく予定です。多くの参拝者の前で堂々と舞えるか心配ですが、落ち着いて作法を間違えずやり遂げたいです。

昭和にタイムスリップ



40年前の百味と湯立（昭和60年）

この時の神棚は3段。湯立では顔を伏せたり手を合わせたりする参拝者の姿が見られます。

大学2年生
森村 心桜さん(19)

日本史と神社仏閣巡りが好きです。

神職を目指して修行中！
来年の湯立で巫女デビュー

巫女が舞い、湯を振りまく

かねと太鼓の音に合わせて、巫女が神樂を舞いながら、大きな釜の湯に酒・塩・米を順番に入れます。巫女がひしゃくでくつた湯を、神官が神棚に供えると、つかの間の静寂が訪れます。巫女が両手に釜を持ち、湯をすくって高く上げる所作が静寂が破られる合図。かねと太鼓が激しく鳴り響き、ダイナミックに釜が振りまかれます。参拝客から沸き起る歓声と悲鳴、響き渡る拍手。巫女が手を止めると、湯気に包まれ見えなくなつていた巫女の姿が再び現れます。こうして湯立は終わりを告げます。

これまで厳しい表情だった巫女の顔が一変、和やかになり、参拝客に鈴を鳴らしながら無病息災を願います。



③ 湯立

市指定無形民俗文化財をテーマに、2年ぶりに市民の皆さんにLINEアンケートを行いました。323人の回答者のデータと意見の一部を紹介します。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

問合せ先=秘書広報課 (☎ 64-1320)

認知度



市民にLINEでアンケート

感想・意見など

▼夜に行われる大住隼人舞は、松明の明かりなど幻想的で見た時は感動した。こどもが伝統を守って練習しているのも素敵▼瑞饋神輿の制作現場をたまたま見かけたが素晴らしかった▼百味と湯立は、地元の人々も含めてもっと知る機会があるといい。幽玄かつ厳かな湯立が今も息づいていることに感動した▼25年も市内に住んでいるのに、全く知らなかった。もっと目につくようなお知らせがあるとうれしい▼市内に古代の息吹を感じさせる行事が残っていてとても良い。この伝統行事をみんなで考え、感じ、それを大切につないでいくことが重要だと思う

昭和の田辺町に想いをはせる

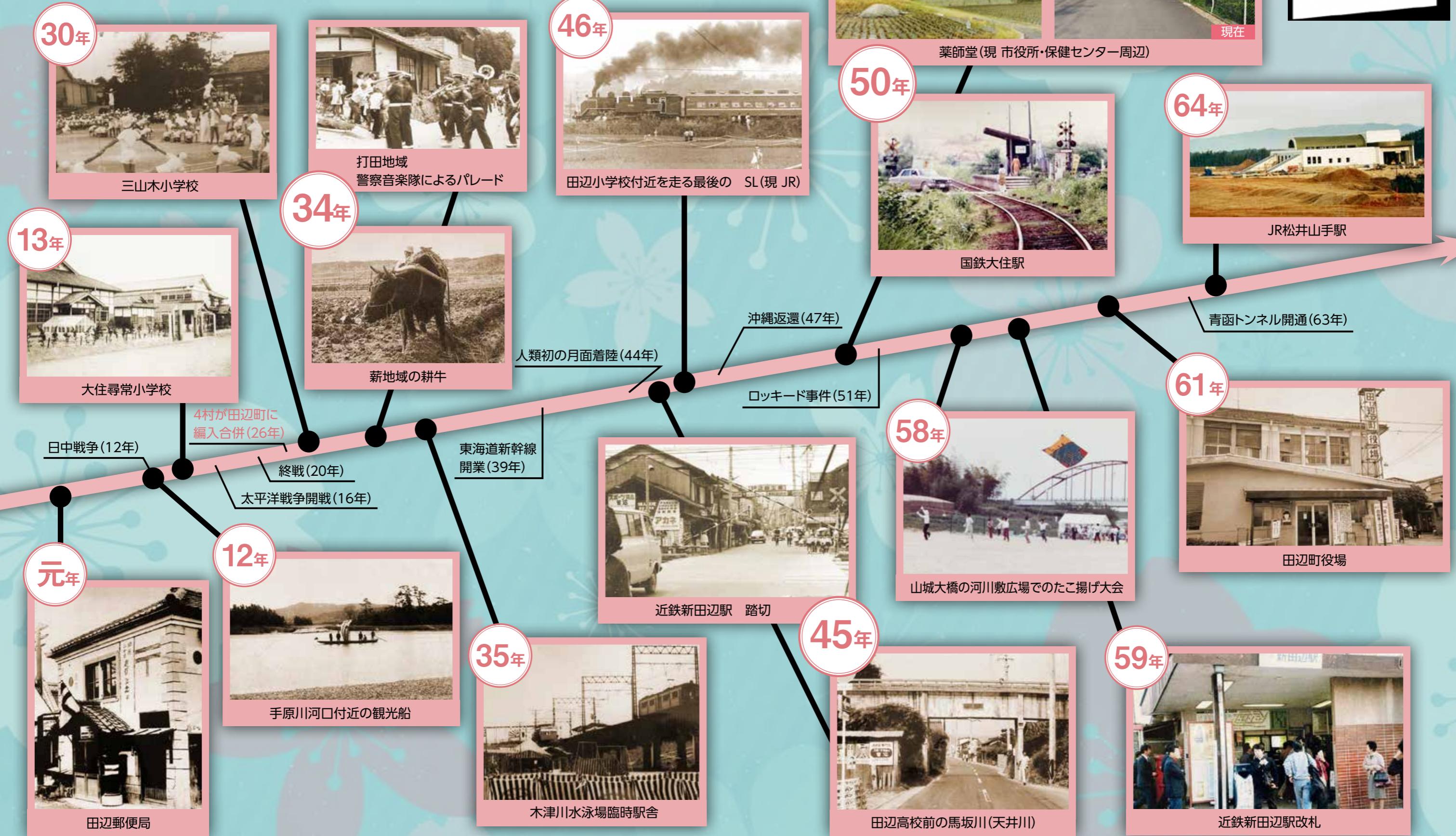
市民公募

今年は、昭和元年から起算して「昭和100年」となる節目の年です。これを記念して、市民の皆さんに、昭和の田辺町(現 京田辺市)の風景写真を募集しました。応募写真の一部を紹介します。

応募者や協力いただいた郷土史会の皆さん、ありがとうございました。

問合せ先=秘書広報課(☎64-1320)

定点比較



国勢調査にご協力を

国勢調査は、日本の未来をつくるために必要で大切な調査です。国や地方公共団体が正確な統計に基づいて、公正で効率的な行政を行うためには、日本に住む全ての人・世帯が漏れなく、正確に回答する必要がありますので、ご協力をお願いします。

◎回答はインターネットで 10月8日まで

回答は、スマートフォンやパソコンからいつでも手軽にできるインターネットを利用してください。QRコードを読み取ることで、ログイン情報を自動入力することができます。詳しくは、国勢調査員が配布する「インターネット回答依頼書」をご覧ください。

■紙で回答もできます

インターネット回答を利用しない人は、調査員が配布した紙の調査票で回答し、返信用封筒で郵送してください。

【回答期限】

10月8日㈬

【調査書類の配布・回収】

国勢調査京田辺市実施本部（京田辺市東西ノロ51
〈旧田辺東幼稚園〉、☎62-4341）

開設日時=▼10月8日㈬まで…平日（午前8時30分～午後7時）、土・日曜日（午前9時～午後5時）

▼10月9日㈭～27日㈪…平日（午前8時30分～午後5時15分）

問合せ先
(11月7日㈮まで)

国勢調査コンタクトセンター
☎0570-02-5901、IP☎03-6628-2258（午前9時～午後9時）



「QRコード」は株デンソーウェーブの登録商標です。

学生が市職員を取材！

あれがじゅう プロジェクト

シリーズ⑥【最終回】こども施策の舞台裏



河原こども園の除幕式①

学生グループが市職員を取材して、より良いまちづくりのために力を入れている点や工夫していること、こだわりなどを教えてもらい感謝を伝える「京田辺ありがとうプロジェクト」。最終回は、こども施策を推進する担当者に話を伺いました。

ーこども未来政策推進室の仕事内容は？

令和6年度に新設された部署で、主に、就学前教育・保育、児童福祉などのこども施策の推進や、こども計画に関する業務を行っています。こどもが輝けるまちづくりの道しるべとなる同計画を策定するには、こども・若者の意見・考えを盛り込む必要があるため、当事者を招いてのワークショップを企画・実施しました。また、同志社女子大学と連携し、将来、保育士などこどもに携わる仕事を目指す学生と一緒に、創造性を豊かにする砂遊びが楽しめるフェスタなどを開きました（=写真①）。

ー今、特に力を入れている施策は？

市はたくさんの子育て応援事業を展開していますが、周知不足のため、「知らなかった」「もっと早く知りたかった」という意見が寄せられています。そこで、子育て世代に多く利用されているSNS「Instagram」での情報発信を10月から新たに始

「接続使」「チームでこぼこ」の皆さん



記者に
チャレンジ！

めます。こどもの施設や遊び場スポット、子育て講座やこども・若者向けのイベント、離乳食・おやつレシピなど、文字だけでなく、写真やショート動画なども使って、工夫しながら分かりやすく情報を届けます。詳しくは広報紙11月号でお知らせします。

また、保護者の生活スタイルが多様化する中で、幼稚園と保育所の両方の良さを合わせ持つ「こども園」化を進めています。今後も、保護者とこども双方が幸せを感じる子育て環境を目指して、取り組んでいきます。

◎取材で感じたこと

子育ての部署は、温和な雰囲気で控えめなイメージを持っていたので、「どこの自治体でも、最も忙しい部署は子育て関係」と聞いて正直意外でした。こどもたちの暮らしや命に関わることから全職員の目が本気だったし、こどもたちのためにという熱くて真っ直ぐな意志を感じました。こども施策に関わってくれている皆さん、ありがとうございます！

◎私たちから皆さんにクイズ！

- Q1：こどもに関する部署の職員数は？
Q2：令和元年から10歳代人口は何人増えている？

- A1：約70人（市役所内で）
A2：約260人

学生記者の皆さんへ こちらこそありがとうございました！

これまで5回シリーズで、学生の皆さんの企画「京田辺ありがとうプロジェクト」を紙面で紹介してきました。同シリーズは、3月に京田辺クロスパークで開かれたプレゼンテーション（=写真②）の内容を記事として再編集したものです。プレゼン当日、市職員へのメッセージを綴る時間が設けられ、多くの来場者に感謝の気持ちを書いていただきました。後日、学生の皆さんか



ら、その時のカード（=写真⑤）を取材先の各部署に届けてくれました。

私たち市職員は、より良いまちづくりのため日々の仕事に取り組んでいるので、当然のことと考えていますが、今回、感謝をいただける企画を考案してくれて、こちらこそありがとうございました！

今後も引き続き、皆さんの笑顔がもっと増やせるよう職員一丸となってまちづくりを進めていきます。

たくさん感謝に感激！励みになります。



問合せ先=秘書広報課（☎64-1320）